

患者名 _____

ソリス治療病院 _____

担当医名 _____ 電話: _____

緊急時搬入病院 _____

緊急時搬入病院責任医師名 _____

抗補体(C5)モノクローナル抗体製剤 | 薬価基準収載

ALEXION

ソリス®
(エクリズマブ) 点滴静注 300mg

一般名: エクリズマブ(遺伝子組換え)点静注製剤
生物学的製剤 | 細菌、ウイルス感染症の予防・治療に用いられること

ソリス®はアレクシオンの登録商標です
Copyright©2009, アレクシオン ファーマ. All rights reserved.

ソリス®患者安全性カード

医師向け情報

この患者様は、ソリス(エクリズマブ)治療の処方を受けました。本剤は終末補体複合活性を抑制する抗体製剤です。その作用機序のために、本剤を使用すると、髄膜炎菌感染症(髄膜炎菌)に対し患者様の抵抗力が低下します。さらに肺炎球菌感染症、インフルエンザ菌b型(ヒブ)感染症または他の一般的な感染症に対し抵抗力が弱くなっている可能性があります。髄膜炎菌感染症及び小児の肺炎球菌及びヒブ感染症の初期徴候(発熱、頭痛、項部硬直)の発現を慎重にモニターし、感染症が疑われる場合は緊急に診療し必要に応じて抗菌剤治療を行う必要があります。さらに、患者様には、これらの徴候や症状があり、緊急に治療を行うことを伝える必要があります。本剤に関する詳しい情報については、添付文書の全文を参照してください。髄膜炎菌感染症を発症した場合は、上記ソリス担当医師に電話をしてください。緊急時の感染症治療病院は緊急時搬入病院に搬送ください。髄膜炎菌感染症と診断された場合の推奨抗菌剤は以下です。

【第三世代セフェム:セフトキシムまたはセフトリアキソン】

SOL-Card-1511

ソリス®治療を受けている患者様は、このカードを常に携帯する必要があります。この安全性カードには、本剤投与前と本剤治療中に患者様が知っておく必要がある重要な安全性情報が記載されています。患者様の治療にあたる医師全員に、このカードを提示してください。

患者様向け情報

本剤治療により、患者様に自然に備わっている感染症に対する抵抗力が低下することがあります。特に髄膜炎菌感染症の場合は、緊急の治療が必要です。以下の症状のいずれかが現れた場合、すぐに担当医に連絡してください(裏面の担当医欄の電話番号に連絡してください)。

- 頭痛(吐き気または嘔吐を伴う場合)
- 頭痛と発熱(両方とも発現する場合)
- 38°C以上の発熱
- 頭痛と項部のこわばり(首の後ろが硬直しあごを前に傾けられない)

- 発熱と発疹(両方とも発現する場合)
- 出血性皮疹
- 錯乱(頭が混乱して考えがまとまらない、ものごとを正確に理解できない状態)
- 重度の筋肉痛(インフルエンザ様症状を伴う場合)
- 光に対する過剰な感覚(光が異様にキラキラ輝いている、異常にまぶしい等)

担当医と連絡が取れない場合、すぐに救急車を呼び、このカードを救命救急室のスタッフに提示してください。

**緊急時の感染症治療病院は裏面の「緊急時搬入病院」です。
自宅近くの場合、感染症科、感染症専門医の病院へ。**

本剤使用を中止した場合でも、副作用は本剤最終投与から長期間経過しても起きることがあるため、本剤最終投与から3カ月間、このカードを携帯してください。(2015年10月改訂第3版)